

コブナグサ (小鮒草)

名前の意味：葉が小鮒こぶなのような草という意味。

分類：単子葉類、イネ科、コブナグサ属

(イネ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい湿しめった道ばた、畦

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生じせい)

特徴：根元くきがはう茎、ササのような葉、針金はりかねのような花序かじょの枝が斜めなな上に伸びる

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚 (小さくて目で見てもよくわからない)、離弁りべん (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：7—9月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：メヒシバやアキメヒシバとは、根元ねもとがはうことや、湿しめった所に生えることで区別できる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)